

【委員会における議論のポイント】

今回の格付け結果は、A評価が1名、B評価が4名、C評価が3名と、比較的高い評価となった。

委員が高い評価をした点は、以下の諸点である。

- キュレーション事業という新しい事業について、法的検討なども含んだ詳細な分析検討を加えていること
- 個々の記事に対するサンプリング調査や、クラウドライターからの意見募集など、有効な調査手法が採用されており、その調査手法が詳細に記述されていること
- 原因・背景分析において、ベンチャー企業が陥りがちな問題点に迫ろうとする姿勢がうかがわれること
- 調査報告書全体としての公共財的価値が高いこと

他方で、委員が低い評価をした点は、以下の諸点である。

- キュレーション事業が誤った方向に進んだことについて DeNA の取締役会や監査役会によるガバナンスがどのように機能したかの分析検討が十分でないこと
- 広告料収入に依存するインターネット事業のビジネスモデル自体に対する問題提起や分析検討が十分でないこと（議論の過程では、キュレーション事業自体に収益性を求めてよいのか、ステルスマーケティングなどとも相通じるインターネット事業全体に共通する問題ではないか、といった指摘がなされた）
- 分析検討がやや法律論に偏っており、インターネットの倫理面やメディア論に立脚した議論が十分でないこと
- メディアからの情報の受け手であるネットユーザーの視点に立った分析検討が十分でないこと、ネットユーザーの被害状況などの調査が十分でないこと

以上